

令和5年度 第2回 熱海伊東地域医療協議会 要約議事録

- 1 開催日時 令和5年11月8日(水) 18:30~19:30
- 2 開催場所 静岡県熱海総合庁舎1階 熱海保健所相談室 (Web会議)
- 3 出席委員
伊東市長 小野 達也
熱海市市長 齊藤 栄 (代理出席 健康福祉部長 三枝壮一郎)
熱海市医師会長 渡辺 英二
伊東市医師会長 山本 佳洋
熱海市歯科医師会長 立山 康夫
伊東市歯科医師会長 稲葉 雄司
伊東熱海薬剤師会長 安立 寿美子
伊東熱海薬剤師会副会長 森 佳美
国際医療福祉大学熱海病院長 池田 佳史
伊東市民病院管理者 川合 耕治
熱海市町内会長連合会長 石井 倭雄
伊東市地域行政連絡調整協議会長 沼田 政治
熱海市健康づくり推進委員連絡会長 石黒 葉子
伊東市保健委員連絡協議会長 桑原 佳代
静岡県熱海保健所長 伊藤 正仁
- 4 議題
 - (1) 第9次静岡県保健医療計画〈2次保健医療圏版〉素案
 - (2) 在宅医療圏等の設定に係る経過と今後の進め方
 - (3) 熱海伊東保健医療圏肝疾患対策推進計画 (案)

◇高橋次長（熱海保健所）

定刻になりましたので、ただ今から「令和5年度第2回熱海伊東地域医療協議会」を開催いたします。

私は、熱海保健所次長の高橋と申します。よろしく申し上げます。本日の会議については、会議録を作成した上で公開することとしておりますので、御了解願います。

なお、今回開催分の議事録署名人につきましては、恐れ入りますが、熱海市歯科医師会長の立山委員と国際医療福祉大学熱海病院長の池田委員のお二人にお願いいたします。

次に、本日の会議資料ですが、既に委員の皆様へ配布してございますが、「次第」、「出席者名簿」「第9次静岡県保健医療計画（2次医療圏域版）素案」、「素案に対する委員からの意見と対応案について」、「在宅医療圏域の設定に係る経過と今後の進め方」、「熱海伊東保健医療圏肝疾患対策推進計画案」になります。

それでは、これより議事に入ります。ここからの進行は、当協議会設置要綱第5条に基づき、熱海保健所長の伊藤が議長を務めさせていただきます。伊藤所長、よろしく申し上げます。

◇伊藤議長（熱海保健所）

議長を務めさせていただきます、熱海保健所の伊藤です。

活発な協議と円滑な議事進行につきまして、皆様の御理解、御協力をお願いいたします。本日は、次第に記載のとおり、協議していただく議題が3つございます。多くの委員の皆様からの忌憚のない御意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは、議題1につきまして、事務局から説明いたします皆様よろしく申し上げます。

◇山本主任（熱海保健所）

資料に基づき説明

◇伊藤議長（熱海保健所）

委員の皆様には、事前に計画案をご覧いただきありがとうございました。今回、委員の皆様からいただいた意見とその対応案をまとめた整理表を作成しました。その中で、主に熱海市からいただいた意見について少し触れていきたいと思っております。今回、熱海市の要望どおりとはいきませんでした。熱海市の三枝部長、対応案についてはいかがでしょうか。

◇三枝熱海市健康福祉部長

本日は、齊藤市長所用により欠席しておりますので、私がお答えさせていただきます。救急医療につきましては、熱海伊東医療圏域という問題よりも、医師の働き方改革ということに大きな意味があると思いますので、御説明のとおりでよろしいかと思っております。

熱海市としては、へき地医療について、現在すべてがアナログでやってる状況の中で、先生が週に2日初島にお越しにいただいているんですが、医師が不在の時の看護師の負担であるとか、もう少し、ICTを活用したところに力をいただきたいというところで、今回、要望させていただきました。

周産期医療については、出生数は減っておりますけれども、やはり安心して出産できる場を設けていただきたいというところで、他の圏域と連携させていただきたいという内容です。

◇伊藤議長（熱海保健所）

今、周産期の話も出ましたので、伊東市民病院の周産期の体制について、現在の状況について教えていただけますか。

◇川合委員（伊東市民病院）

この1月から3名体制だったんですけど、1人の先生が高齢を理由に今非常勤になっていて、2名の常勤と非常勤医でやっていますが、サービスの確保とかも中々苦勞してます。しかも、新たにそういう状況の中で始まっているということで非常に慎重にされております。今、月2名から3名ぐらいの出産ですが、だんだん増やしていきたいと思っております。

それで、「周産期医療の正常分娩や比較的风险が低い分娩については医療圏内の分娩取り扱い施設で対応し」を削除するという説明をされましたが、一応、この部分についてはこれから頑張ろうと思っているので、ここを削除するってのは、いかがかなと思っています。我々は、何かこの点についてやっていきたいと思いますという頑張ってますので、そこのところをちょっと考えていただきたいと思っています。

◇伊藤議長（熱海保健所）

ありがとうございます。事務局からの説明が言葉足らずだったかもしれないので、もう一度担当から説明させていただきます。

◇山本主任（熱海保健所）

ちょっと私の説明不足だったかなと思うんですけども、医療提供体制のここ

ろですけども、今回、正常分娩や比較的リスクの低い分娩については、当圏域内で完結させるという形で持ってきまして、ハイリスクの方は、隣接する駿東田方保健医療圏の母子医療センター等との連携により、周産期医療隊提供体制の確保を図るという形で、正常分娩とハイリスクを分けた形で、今回、医療計画の中へ入れさせていただきたいという形で、表現させていただきましても、いかがでしょうか。

◇川合委員（伊東市民病院）

そういう形で方向性を作っていただければありがたいなと思います。

◇伊藤議長（熱海保健所）

我々も伊東市民病院の産科の体制が整うのを非常に心待ちにしております。状況が変わるようでしたら、また教えていただきたいと思います。

正常、リスクの低い分娩に関しては、原則、圏域内で完結できることを目指していますが、一方で伊東市の方に産科の医療、出産ができる医療施設が少し偏在しているというのが問題で、利便性の観点から熱海市にお住まいの方が少しご不便を感じているというところもあるかなということで、少し広い範囲での検討も今後は必要である、可能性があるということを意図して記載を考えたところです。

伊東市民病院の産科医療体制が回復しなくても大丈夫と思っているわけではございませんので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

この件に関しまして、上山（レディースクリニック）先生の方から伊東市医師会の山本委員のところに、患者が多くて困っているという話がありますか。

◇山本委員（伊東市医師会長）

そういう話は聞いていませんが、賀茂の方からも患者が来て少しお忙しくやられてるというお話は聞いてます。あとリスクのある方は、伊東市民病院や順天堂大学静岡病院で診てもらいたいという話はしています。

◇伊藤議長（熱海保健所）

ありがとうございます。我々としてはできるだけ圏域内でできることはやっていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

次に、在宅医療の必要量に関しましては、暫定の数字にはなりますが、資料の8ページで現状必要とされる量に対して今提供されている量は一応大丈夫だと事務局の方から説明しましたが、これに関しまして何かございますか。

◇渡辺委員（熱海市医師会長）

在宅の方は、市内で2医療機関が中心になって非常に活発に動いてくれるので、熱海市としては、在宅医療に関しては今のところあまり問題ないかなと思います。

◇伊藤議長（熱海保健所）

熱海市、伊東市ともに、訪問診療については、既存の提供基盤が非常に高い数字になっているというのが一つの特徴だと思います。正式な数字が提供されましたら、皆さんにお示ししていきたいと思いますが、現状、そういう状況が確認できております。

あと、委員から、在宅医療ができる精神科の専門の先生からの視点も必要ではないかという意見を頂いていますが、現状、保健医療計画に記載することは難しいんですが、そういった課題を御承知の委員がいらっしゃいましたら教えていただきたいと思います。

◇渡辺委員（熱海市医師会長）

熱海市内ではメンタルクリニックとか病院の心療内科が少なく、医師の偏在は少し困るなと思うんですが、在宅での精神科ってのはそんなに必要はないかと思います。

◇伊藤議長（熱海保健所）

山本委員のところには、そんな声は届いていますでしょうか。

◇山本委員（伊東市医師会長）

在宅ではそういうものはありませんが、一番困るのは認知症のBPSDで、家族への暴力だとかですね、精神科と言われるかどうかというのはありますが、そのようなものの判断、治療に困るケースはあります。

在宅医が精神科の薬、抗精神病薬なんかもよく処方するという報告も聞いてますし、あんまり上手くいかないっていうときには、私は、認知症疾患センターが伊東市民病院にありますので、そちらの方に回して診てもらったり、精神科クリニックを受診させて、薬を処方してもらっているのが現状だと思います。

◇伊藤議長（熱海保健所）

伊東市民病院で困った事例とかはありますか。

在宅で療養されてる人のところに精神科の先生が関与しないと困難なケースがあるんじゃないかということに関して意見をいただいたんですが、その中で、

場合によっては、伊東市民病院にお願いしたりするケースがそこそこあるよというお話だったかなと思うんですが。

◇川合委員（伊東市民病院）

多くはないと思います。精神科救急っていいですか、そういうところで苦勞する場面っていうのはないわけではなくて、年に数回かあるかどうかですね。ゼロではないけれども、多くはないはずです。ただ、もちろん、そういう患者さんが来たときには精神科救急に関しては相当難渋しますけれど、多いというわけではないのが現状です。

◇伊藤議長（熱海保健所）

その他委員の皆様からいかがでしょうか質問などございませんでしょうか。池田先生も全体的なことでもいいですし、地域リハのことでもいいんですけども、何かご指摘とかございますか。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院）

地域リハに関しましては、当院は地域リハビリテーション広域支援センターになっていますが、熱海市と伊東市で地域リハに対する認識、考え方が若干違うところがあり、連携がうまくいかない部分もありますが、お互いがすり寄っていただければありがたいなと思っています。

◇伊藤議長（熱海保健所）

歯科医師会の方から、保健医療計画に関する意見や修正事項がありましたら、お願いします。

◇立山委員（熱海歯科医師会長）

熱海市の医科歯科連携の保健医療は、国際医療福祉大学熱海病院各科や歯科口腔外科との医療連携体制により確保されています。

なお、在宅歯科医療に関しましては、熱海市歯科医師会ではまだ多職種連携などの体制を確保できていないために推進できておりません。

◇稲葉委員（熱海歯科医師会長）

現在、伊東市歯科医師会としては、在宅、施設、病院等への訪問および往診診療を中心にシステム構築中で、現在2件の歯科医師会会員が対応して行っておりますが、裾野を広げる意味での研修等を含めて、市民にそれを啓蒙活動していきたいと思ひ、今後在宅訪問歯科診療をより活発に行っていきたいと思っております。

りますので、よろしく願いいたします。

◇伊藤議長（熱海保健所）

薬剤師会の方から、保健医療計画に関する意見や修正事項がありましたら、お願いします。

◇安立委員（伊東熱海薬剤師会長）

特に薬剤師会としては、主に在宅の部分で関連してくるところが多いかと思うんですが、色々なところと連携ができるようになってきました。この間も一度、市民病院から退院カンファレンスに呼んでいただき、いろんな方の情報が、いろんな職種の方の情報が入ってくるので、お薬渡しするだけでも、バックアップっていうのが非常に分かってよろしいのかなと思います。今後もこういった形で連携を続けていっていただければいいかと思っております。

◇森委員（伊東熱海薬剤師会副会長）

安立委員からもお話があったように、関係機関との連携はスムーズにとれているんじゃないかなと思っております。

◇伊藤議長（熱海保健所）

それでは、議題の1番目の「第9次静岡県保健医療計画の2次医療圏版素案」に関しましては、先ほどお示ししましたの対応案のところを修正させていただき素案とさせていただきたいと思います。皆様よろしいでしょうか。

◇川合委員（伊東市民病院）

13ページの脳卒中の医療提供体制について、医師数ですが、当医療圏の脳神経内科医師は1名、脳神経外科医は11名というところがあると思うんですが、脳神経内科医師が1名ということはないんじゃないかと思うんです。国際医療福祉大学熱海病院、熱海所記念病院を含めればもっというんではないかと思うんです。

◇伊藤議長（熱海保健所）

ここの数字は、2022年の「医師・歯科医師・薬剤師統計」の公表データを基に記載していますが、改めて数字を確認させていただいて、個別に川合委員と池田委員にご回答させていただきたいと思います。

その部分以外のところに関しまして御承認いただけるということでよろしいでしょうか。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院）

ここに記載するのが、2023年4月なのか、その前の2022年なのか、そこをはっきりさせていただきたい。

◇伊藤議長（熱海保健所）

医師数に関しては、一番直近の公式の統計データを基に記載しています。2022年の数字をここの箇所だけじゃなくて他の所にも記載しています。

いただいた御意見は確認させてもらうことといたしまして、先ほどお示しましたの対応案のところを修正させていただき、素案として確定させていただきたいと思います。

また、それを第3回の協議会の方で検討していくような形になると思います。が、それまでに少し変更があるかもしれません。

次に、議題2の「在宅医療圏等の設定に係る経過と今後の進め方」について、県の地域包括推進室から説明します。

◇内野室長（県地域包括推進室）

資料に基づき説明

◇伊藤議長（熱海保健所）

担当者からのご説明のとおり、在宅医療圏、積極的医療機関、連携拠点を今後決めていくということになっております。それにあたり今後個別に関係者の方に御説明お願いをさせていただくことになるかもしれません。

当圏域は第3回目の地域医療協議会で改めて協議させていただいてそこで決定していきたいと思っています。

ただいまの説明に関しまして、ご質問やご不明点等がございましたら、皆さんからいただきたいんですが、いかがでしょうか。

◇山本委員（伊東市医師会長）

資料12ページの賀茂、熱海伊東が「現状分析で終了」となっていますが、どういう意味でしょうか。

◇内野室長（県地域包括推進室）

8月3日の会議には市町の担当の方、郡市医師会の担当でやってた先生方に御参加いただきまして、地域の在宅医療に関する支援の状況や現在の取組の状況とかについてお話していただいた上で、これらについて検討を重ねていただくような手順で進めていたんですが、地域の現状分析の時点で終了して、在宅医

療圏、積極的医療機関、連携拠点についてどう進めていくべきというところまで議論が進まなかったということです。

◇山本委員（伊東市医師会長）

積極的医療機関だとか連携拠点について、全く案も何もないっていうことですか。

◇内野室長（県地域包括推進室）

その会議に出席された中では、意見としてはまとまらなかったということで、国の方の指針では、先ほどもご説明させていただいたとおり、積極医療機関につきましては、在宅療養支援診療所、支援病院等が望ましい、連携拠点については、郡市医師会であったり、保健所、市町が望ましいというふうな形で示されています。

◇伊藤議長（熱海保健所）

その会議には私自身参加していませんが、担当者に確認したところ、熱海市、伊東市の担当者や実際に在宅診療をやってる先生には積極的に意見をいただきましたが、そこの参加者に、例えば病院がいなかったりですとか、この圏域だと既に例えば、在宅をやっててちょっと手に負えなくなってきたからというところで、病院にお願いして二次救急をやっていただいているようなところが想定されやすいんじゃないかなと思いますが、そういったところの意見がその会議の現場では反映できなかったというところもありまして、現状分析と書かれています。積極的医療連携拠点にまで話が及ぶことができなかったということで、決して準備してないというわけではありません。

保健所としての考えは、積極的医療機関に関しましては、今後、二次救急などをやっていただいている先生のところ、先ほどインセンティブみたいな話も出てきたかなと思いますが、そういったところが少し固まってきたところで、お願いに何う方向で検討しておりますが、まだそういったところが見えてきてないので、我々としては現状分析が終わったというところなのかもしれません。

山本委員の御心配のところは非常によくわかりましたので、我々も協力してやっていきたいと思っています。

続きまして、議題3 熱海伊東保健医療圏肝疾患対策推進計画（案）について、事務局から説明します。

◇山本主任（熱海保健所）

資料に基づき説明

◇伊藤議長（熱海保健所）

こちらの件に関しまして、委員の皆様いかがでしょうか。

特に御意見も無いようですので、御承認いただきたいということで承りたいと思います。

最後に、せっかくの機会ですので、全体を通して総括でも構いません、伊東市長の小野委員、何かございましたら一言お願いします。

◇小野委員（伊東市長）

伊東市も熱海市も少子化に直面しています。また、高齢化率も非常に高い地域ですので、医療をしっかり支えていただきたいと思います。

今日お集まりの委員の方々に、市民を代表してみたいな形になりますが、よろしくお願ひしたいということを一言添えたいと思います。以上でございます。

◇高橋次長（熱海保健所）

これにて、令和5年度第2回熱海伊東地域医療協議会の方を終了させていただきます。この後引き続きまして、地域医療構想調整会議の方も開催させていただきますので、調整会議の委員の方は引き続きの御参加をお願いしたいと思います。

上記のとおり、令和5年度第2回熱海伊東地域医療協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、議事録署名人が署名する。

令和 5年 月 日

署名人 熱海市歯科医師会長

署名人 国際医療福祉大学熱海病院長